【ねがいましては】

平成１７年９月２８日
第１８０号　　*KYOWA　SCHOOL*

「全体像」

先日あるＴＶで、高校生たちの修学旅行がマレーシアで行なわれた番組を見ました。「食」の原点が「命」を奪うところから始まるもので、目の前でブタが、悲鳴をあげながら殺されてゆく光景を見、思わず女子生徒などは泣き出してしまうシーンがありました。しかしその晩は、昼間殺されたブタのステーキに、「うっ、うまい！」

素直なもので、彼女たちは普段スーパーで並んでいるだけの『肉』が、このようにして始まることを知り、改めて命をいただいていることを学びます。命をいただいて、その命を大切にし、その命にこたえなければという使命感のようなものを覚えます。

現地の子どもたちとの交流も含めて、一週間の滞在が、彼らの人生に与えたものは大きいと感じるとともに、ものごとの始まりから終わりまでを見極めることが、いかに大切であるかを再認識しました。

全体を見極めることから始める・・・・・。

もう半年以上前でしょうか、ある高校生がアルバイトを始めるというので、私は開口一番、次のようなことを言いました。

「まず、お店の中がどのような動きをしているのか全体を見極めるんだよ。そうすると流れが見えてくるから、その中から自分に出来ることが見えてくるよ。言われたことだけやるのではなく、もし自分に空いた時間が出来たなら失敗を恐れずに積極的に動いてごらん。きっとお店の人たちに可愛がってもらえると思うよ。」

彼女は今でもそのアルバイト先で張り切っています。

まさにいつも私がこの教室で生徒たちに言っていることと同じようなことを、私は彼女に言っています。

新しい収穫は、『全体像』・・・。普段何気なく私自身が使っている感覚を、生徒たちには流していなかったな。『失敗を恐れないでね。』というのは当たり前のように言い続けていることなのですが、『全体像を見極めよう。』はあまり出していなかったな・・・。

勉強に嫌気がさし、逃げ腰になっている子達がほとんどの中で、お母さんたちも何とかして勉強させなければと思っているはずです。「成績」というただ一点のことにこだわるがために、じわじわと湧き出てくる「イライラ」・・・。その感情を抑えきることが出来ずに、「コラーッ！」・・・・悪循環です。

お子さんが真剣に学校のことに思い悩んでいるか、もしそうであれば、成績以前にお子さんは精一杯なのですから、評価してあげたいのです。ご家族の方々が、お子さんをそっと包みこむ必要があります。お子さん全体を包み込むのです。お子さんの全体像をしっかりと見極める努力が必要かと思われます。そのためには家族団らん、言いたい放題、いつもほのぼのとした雰囲気が流れる家庭です。

３年生の「R」君は、かなりな甘えん坊さんであり、かなりなわがままさん。その彼がこの頃は大きく変化しています。当たり前なのですが、学校では同学年の子達との触れ合いしか手に入りません。ここでも当初は小学生たちばかりのクラスに通っていましたが、お姉さんが夜のクラスへ来ているので、この夏休みの期間中から夜組へと移りました。

小学生は彼ひとり。周りは皆中学生のお姉さんやお兄さんです。当たり前ですが、集中力が違います。そんな中で彼は全体の雰囲気に押されます。中学生たちは皆、自分で思い思いのことを決め、真剣に学習しています。積極的な質問が飛び交います。全員が、とは言い切れませんが、おとなしい子でも、何とかして質問しようと思っているはずです。全体がそのような雰囲気になっているからです。「R」くんは、そろばんの難しい運指部分を根気よく繰り返し質問します。そのたびに私は褒めます。

「何回でも聞くんだよ。それがえらいんだよ・・・・・。」

教室の中は、家族に似たほのぼのとした雰囲気で包まれています。私も彼らを家族同様の思いで包みます。「R」君はその安心感を知り、自然と違和感なく机に向かいます。「R」君は全体を私に、中学生たちに包まれています。

「R」くんは、「学校の勉強だけじゃないぞ、ぼくが精一杯に向かえることのできる空間がここにはあるぞ。」と思い始めているのかもしれません。学校から離れて、全体の「ぜ」の字を知り始めているのかもしれません。

色々な『全体』がありますが、中学生たちには、なぜ勉強なのかを全体像を踏まえてもっともっと語らなければならないと感じます。成績ではなくもっと広い意味で、なぜ勉強なのかです。学校で行なわれている勉強が『すべて』と思われがちですが、『全体像』はそんなものではありません。銀河系宇宙です。そのことをまず理解しなければ、彼らのストレスなど解消できません。そんな銀河系を、これからもこの小さな空間で私は言い続けなければと思っております。

もっともっと、ものごとを広く見つめてみようね。学校を包んでしまうような広い心を持てるよう、失敗を楽しもうね。失敗に燃え上がろうね。失敗を包み込んでしまおうね。